



私立短期大学図書館協議会

会報

編集者
 網本・菅原
 発行者
 もり・きよし
 私立短期大学図書館協議会

Bulletin of Junior College Library Association

1982. 7 No.10

創立5周年を迎えて

私立短期大学図書館協議会会長 もり・きよし

わが私立短期大学図書館協議会は、本年で5周年となる。同慶の至りである。結成して5年目が第一の節目に当るといわれるが幸い会員校の好意に支えられて成長をつづけている。ここに経過を省みて管見を述べてみたい。

この協議会は1977年9月に創立されたが、その前史としては1960年のJLA全国図書館大会(福島)における短大図書館分科会に始まる。これは、わが国で短大発足して10年後のことであった。後にJLA組織のなかで、大学部会の分科会が生まれ、さらに1970年に短大図書館部会として独立し、毎年行なわれ全国大会における分科会の企画・運営を担当して時宜的な課題につき研究発表がなされてきた。因に、去る5月21日JLA創立90周年記念式典では、短大分科会の初めから永年にわたり短大図書館の発展に力を尽され藤田豊先生(電気大)に対し功労者表彰が行なわれた。嬉しいことである。

他方では、学校法人による日短協及び東短協のなかにも図書館研究委員会があり、年々研修会を開催し、また短大紀要題目索引の刊行あるいは「……改善要項」案を作成している。しかし、JLA部会は、その性格からみて恒常的な活動は難しく、また後者は私立短大の構成であって、現場の司書たちには隔靴搔痒の感がないでもない。

さて、現場の人びとには図書館を主体した研究や協力活動の拠点として自らの組織体を求める声が多い。また館種別の全国組織も殆ど設立されていた。こうした情況のなかで1976年に設立準備会が設けられ、阿部登巳先生を座長とし設立趣旨及び規約案を作って全国の短大へ呼びかけを行ない、翌年102校の参加を得て大阪で創立総会(出席は62校)で結成をみたわけである。

私は推されて会長に就任し、その後3選に及んでいる。短大の経験に乏しい私は実状さえわきまえず、専ら阿部氏をはじめ役員の皆さんに助けられながらここまで来た

に過ぎない。しかし、事業は徐々ではあるが、着実に進み、本年度始めて催した全国研修会も成功したと自賛している。これらは会員校の支援と役員各位の迸る情熱と協力のためのものである。近くにて実状を知る私には感激あるのみ、ほんとにありがたい次第である。

なお、組織活動では全国的と地区活動の二本立であるが、研究活動は地区に重点がおかれている。7地区協議会とも年々テーマを設定し継続的に行われている。とくに書誌活動の一つとして関東甲信越地区、近畿地区協議会で逐刊物の合同目録が編さん刊行され、また東海・北陸地区、北海道地区で進行中であるという。

とにもかく、この協議会も形式的には整ってきた。ある程度の基礎も固った。これからは短大図書館の理念と在りかたを追究しつつ、より実際的な諸問題と取組んで行かねばならない。短大設置基準の底あげと「改善要項」案の見直し、さらに運営・業務全般にわたるスタッフ・マニュアルないしハンド・ブックの作成を望みたい。また、地区単位からでもよいが文献資料の相互貸借、コピー・サービスなどの図書館協力が手軽に行える体制づくりと、コンピュータによる業務の省力化も課題であろう。これは私の思いつきにすぎないが、なすべきことはきわめて多い。図書館の発展向上は大学の教育・研究に反映する。この会の使命もますます重大であるが、残念ながら貧しい財政である。とは言え、会の発展は人であり、図書館人の魂である。人と人との結びつき、協力団結にある。一つの目標に向かって前進しよう。力を寄合って頑張ろう。私は本年度で退くことになるが、次の5年の躍進を愉しみにしていきたい。(妄言多謝)

昭和 57 年度私立短図協總會記録

日時：昭和57年 5月19日午前 9:30-10:30

場所：東京 社会文化会館 3階

参加：出席者42名委任状 111名 計 153名

有岡理事（鶴見大学女子短大部）の司会により進められ、もり会長のあいさつ、本年は当協議会が創立され、5周年を迎える。今後増々短大図書館の発展を期待すると述べられ、そのあと早速議事に入ったが、議長として林氏（愛知淑徳短大）を選んで次の事項を審議した。

I. 昭和56年度会勢並びに事業報告 が安部常任理事事によって報告された。

①会勢、昭和57年 3月31日現在 217館昨年より7館増加、昭和57年 5月18日現在 223館

②事業報告

△昭和56年度総大会の件（会報8号参照）

△会報の発行（8号、9号）

△短期大学図書館研究第3号の発行

△第1回短期大学図書館全国研修会開催準備

△地区活動助成

③地区活動報告 4p参照

II. 昭和56年度決算報告 一般会計、出版事業特別会計

渡辺幹事（東京女子大短大部）報告 下表参照

会計監査報告 宮島監査（共立女子大短大）報告

III. 昭和57年度事業計画・予算案 安部常任理事説明

I、II、III議案全員賛成につき承認された。

IV. その他、意見、提案が2、3出された。

1) 短期大学図書館総覧の改訂について

2) 全国研修会開催について

3) 会費値上げについて

4) 全国短大図書館員名簿について

これらについての検討善処方が要請された。

以上

（記録 網本・菅原）

私立短期大学図書館協議会

昭和56年度一般会計<決算書>

(収入の部)

勘定科目	予算	決算	差引	備考
会費	1,200,000	1,105,000	△ 95,000	昭56 216×5,000 昭55 5×5,000
助成金	30,000	0	△ 30,000	
雑収入	4,500	1,511	△ 2,989	預金利息
計	1,234,500	1,106,511	△ 127,989	

(支出の部)

事業費				
総会開催費	65,000	67,950	△ 2,950	
会報刊行費	125,000	131,400	△ 6,400	
出版事業特別会計へ繰り入れ	182,107	60,000	122,107	
地区交付金	480,000	432,000	48,000	216×2,000
地区活動助成金	140,000	160,000	△ 20,000	
全図連加盟負担金	10,000	0	10,000	
会議費				
全国理事会	30,000	43,970	△ 13,970	
本部役員会	30,000	30,660	△ 660	
事務費				
消耗品費	10,000	11,900	△ 1,900	
通信費	45,000	43,060	1,940	
会報郵送費	12,000	12,440	△ 440	
紀要	10,000	9,400	600	
本部役員交通費	55,000	70,000	△ 15,000	14×5,000
雑費	10,393	21,950	△ 11,557	
予備費	30,000	0	30,000	
次年度繰越金	0	11,781	△ 11,781	
計	1,234,500	1,106,511	127,989	

昭和57年度一般会計<予算書>

(収入の部)

勘定科目	予算	
会費	1,880,000	235×8,000
全国研修会参加費	700,000	
雑収入	2,000	預金利息
前年度繰越金	11,781	
計	2,593,781	

(支出の部)

事業費		
総会研修会開催費	950,000	
会報刊行費	200,000	年3回発行
地区交付金	470,000	235×2,000
地区活動助成金	420,000	7×60,000
全図連加盟負担金	10,000	
会議費		
全国理事会	65,000	
本部役員会	70,000	
事務費		
消耗品費	20,000	
通信費	90,000	印刷物郵送費含む
本部役員交通費	140,000	10,000×14
事務局費	30,000	
雑費	20,000	
予備費	108,781	
計	2,593,781	

出版事業特別会計

昭和56年度<決算書>

昭和57年度<予算書>

〔収入の部〕

勘定科目	予算	決算	差引	備考
売上収入	771,500	586,200	△185,300	未回収分270,000を含む
広告収入	290,000	570,000	280,000	
一般会計より繰入	182,107	60,000	△122,107	
計	1,243,607	1,216,200	△27,407	

〔収入の部〕

勘定科目	予算	備考
売上収入	700,000	コンピュータ・プログラム
(出版物)		
売上収入	60,000	(その他)
広告収入	300,000	
前年度繰越金	92,073	
計	1,152,073	

〔支出の部〕

勘定科目	予算	決算	差引	備考
発送経費	141,500	114,700	26,800	
PR経費	114,000	23,820	90,180	
印刷経費	560,000	557,500	2,500	
前年度未払金	428,107	428,107	0	
収支差益	0	92,073	△92,073	次年度繰越金
計	1,243,607	1,216,200	27,407	

〔支出の部〕

勘定科目	予算	備考
発送経費	143,000	紀要№4 (600,000) 名簿 (300,000)
PR経費	90,000	
印刷経費	900,000	
予備費	19,073	
計	1,152,073	

第1回短期大学図書館全国研修会

— 全国から150名参加 —

期日：昭和57年5月19日～20日

場所：東京 社会文化会館3階ホール

参加者：149名

有岡理事司会のもとに進められ、安部常任理事の開催のあいさつで開催準備の経過ならびに協力いただいた方々に対するお礼と研修内容について述べられ、続いて共催側として私立短図協関東甲信越地区理事の日本経済短大の高尾氏からあいさつ、祝辞として公立短期大学図書館協議会会長のあいさつ(代読)のあと第1日目として機械化によらない合理化、省力化問題について午前には本協議会長もり・きよし氏により「中小図書館における整理業務の合理化と省力化」と題して講演が行われた。

講演主旨はおよそ次のようなことになる。

はじめに—私立短図協主催第1回研修会への問題提起として

1. 図書整理の理念と指向—整理業務の位置づけ
2. 配架分類はNDC要目表(部分的には4ケタ)で十分である
3. 公開書架制では、図書記号による完全個別化を必要としない
4. 別置の問題(参考図書群、指定図書、新着書、大形本、逐次刊行物など)

5. 図書館目録の機能

6. 集中目録作業—印刷カードの導入

7. 目録の体制と配列、編成

8. 書誌、文献目録、索引の活用

9. 委託整理について

先生の整理業務50余年の体験から問題点、具体例から合理化、省力化をはかっていつてはどうかと問題提起をいくつか出された。とくに短大図書館においては職員の不足でありながらも整備備重にとらわれ、本来の図書館活動が充分にできないなど、また分類、目録の簡素化も強く主張された。図書整理のToolとして3大Tool(NDC、NCR、HSH)があるが、それを基に、その館



なりの一貫性を保つことが大切であると述べられた。

引継いで午後は午前の講演の補足説明、また会場からの質問に答え、また意見交換を行った。

整理業務の合理化・省力化の講演をきっかけに、研究担当理事、関東地区役員を中心に標記のアンケート調査を関東甲信越及び静岡を含めて行った。その調査結果を芝原理事（東洋英和女学院短大）により発表され、その発表の質疑が行われ、そのあと、総合的討議が行われ、終了した。助言者もり・きよし氏、発表芝原翠座長菅原春雄氏によって行われた。

第1日目午後第2プログラムとして国学院大学栃木短大図書館長片山喜八郎氏から「マイクロコンピュータと図書館」について話された。昨年の浦和の全国図書館大会発表を機として要望が一段と強くなり、また今回の発表となった。まず国学院大学栃木短大の現状と初歩的マイコンの概説が口頭で、また映画を用いて行われ、マイコン導入の糸口となった。初日は入門程度で終了。

引継いで夕方6時から特別実習（番外）があり、あらかじめ予定者20名前後であったが、熱心に80名をこえる参加者で9時過ぎまでにぎわった。参加者の8、9割の人たちは、はじめて機械に手をふれたひとたちであり、またこのような研修会・講演会は館界唯一のものであった。とくにマイコンによる図書館業務の合理化、省力化の適用公開ははじめてであり、短大図書館はじめ、4年制大学や高校など参加申込者が定員をこえる盛況であった。

第2日目はプログラムによれば次のように行われた。

9:30~11:30

「貸出管理、図書の受入、予算管理」

11:30~12:40

「漢字処理能力をもつPC8800システム公開

12:40~13:00

講演「マイコンによる業務処理とPARM PC」

講師 アスキーコンシューマプロダクツ 那須 勇次氏

13:00~14:00

雑誌管理について

指導 国学院大学栃木短大 佐藤 郁子 氏

テキスト：PARM-PCによる雑誌管理（図書館
大道8号）

14:30~16:30

自由課題の演習

機械NEC PC8000を22台設置し、1グループ6名編成で実習した。プログラムは国学院大学栃木短大図書館で実施しているものを用いた。指導には国学院大学栃木短大図書館長片山氏、同高校教諭菊地俊一氏、図書館佐藤郁子氏、東京女子短大の渡辺氏、アスキーコンシューマの那須勇次氏、ミカサ商事、NECの方々等の指導によった。

今回のコンピュータ実習に際しては片山氏、渡辺氏の準備交渉など多大な苦勞に対し感謝申し上げたい。また機器等で多大なご協力をいただいたミカサ商事、NEC、アスキーコンシューマプロダクツ等に対してもお礼申し上げます。（菅原）

＜地区協議会活動報告＞

＜北海道地区＞

私短図協道地区協議会では、昭和57年度総会をさる4月23日（金）の午後1時から北海道武蔵女子短大図書館において開催した。

総会には、加盟15館のうち9館（委任状6館）が出席して行なわれ、議長に森（道自動車短大図書館長）氏を選出して議事にはいり、つぎの議題について協議を行なった。

1. 昭和56年度私短図協道地区協活動報告
2. 昭和56年度私短図協道地区協決算報告・監査報告
3. 昭和57年度私短図協道地区協事業計画ならびに予算案について

上掲の3件についてはいずれも承認された。

今年度の主な事業としては、第4回の研修会ならびに公開講演会を来る9月14日（火）に安部三巳先生をお招きし、「大学図書館の刷新〈仮題〉」と題してお話しなが

うことになっている。

◇全国各地協がつぎつぎに実現している各地区加盟館の逐刊総合目録を、道地区においても刊行を計画していたが、今年度からその準備に着手し、そのための調査費を計上し承認をえた。これによって道地区短大所蔵の逐刊総合目録刊行にむかって一歩踏みだしたことになる。

◇北海道内では近年大学・短大図書館の新・改築が行なわれているが、北星学園女子短期大学図書館（札幌市）においても長年の懸案であった新館の建築が実現し、6月中旬に開館された。詳しくは次号にご紹介することになると思うが、新館は校舎の一部699㎡を占有し、47,000冊の蔵書収容が見込まれ、70席が確保されている。

<東北地区>

57年4月より、新設校「羽陽短期大学図書館」が新加盟、東北地区は加盟館12館となった。

さて、私短図協東北地区支部昭和56年度研修会を、57年1月30日新装成った聖霊女子短期大学(秋田市)新図書館を会場として開催した(館長北条忠雄先生)。

先ず、新図書館の見学から始められたが、秋田旧城址を背景とし、旧城濠を見おろす丘の上に図書館があり、まさに天空開濶の立地条件で、四方の景観は素晴らしく、しかも館内の配置は閲覧机の一箇一箇まで細心の注意が払われて設備され、見学者一同に大きな感銘を与えられたことであった。

今回の研修会のメイン・テーマは“新訂八版移行に伴う諸問題”であったが、東北地区中村理事の司会によって、活発な論議が交わされた。現実問題としては参加館中、新訂八版への移行は半数の館であったが、日進月歩の現代にあつてはどうしても新しい分類規準・項目が不可欠であり、八版移行への事務処理・技術の面において解決すべき問題はあつたが、移行することが短大図書館近代化への一つの経路であると解釈して討議が進められ、秋田大学附属図書館鈴木和子氏よりは、問題点の一つ一つについて適切な示唆・指導をいただくことが出来た。

その他、蔵書増加についての「基準」の問題、「除籍」「蔵書点検」など日常当面の問題について討議を行い、引き続き昭和56年度私短図協東北地区協議会総会に入り、57年度研修会・総会会場館を山形女子短大図書館に決定。

研修テーマについてはいずれ、幹事館(仙台白百合短大図書館長宮城清先生)と協議の上、決定をみるが、一応、「短大図書館の近代化・機械化の問題」という線が出ており、去る五月の「私短図協」の第一回全国研修会のテーマを、地区として受けとめて、地区なりに深めてみてはどうであろうか、という見解である。(N)

<関東甲信越地区>

○ 幹事会

日時：昭和57年3月23日(火)11時-12時

場所：日本図書館協会

議題：総会提出議案について審議

○ 講演会

日時：昭和57年3月23日(火)13時-14時30分

場所：日本図書館協会

講演 「半生紀の図書館生活」

講師 木寺 清一氏(常盤学園短大教授・図書館長)

○ 総会

日時：昭和57年3月23日(火)15時-16時30分

場所：日本図書館協会

議題：1. 昭和56年度決算報告(仮)

2. 昭和57年度事業計画及び予算

参加者 21校30名(委任校19校)

関東甲信越地区協議会の昭和57年度事業の一つとして本部主催、関東甲信越地区協議会共催で、全国研修会が5月19日、東京、社会文化会館に於て開催され、多数の館員が参加された。

<東海・北陸地区>

<会報7号 21ページ 150部 56.12.1発行>

内 容

1. 総大会(昭和56年度)議事

2. 講演会要旨

図書館界の動向(安部竺巳氏)

3. 見学記

名古屋短期大学附属図書館を見て(聖徳学園女子短大：加藤裕子)

4. 図書館の近況

名古屋聖霊短大、高山短大、金沢女子短大、名古屋栄養短大

5. 付属資料

昭和56年度図書館調査票、「図書の整理」に関する調査

6. その他

<昭和56年度第2回研修会>

日時：昭和57年3月10日

場所：一宮女子短期大学

参加者：22名

(1) 臨時職員の位置づけについて

(2) 図書館と教員との連携について

(3) カード作成・編成などの手順、印刷カード購入館の実状など

(4) 蔵書点検について

<雑誌目録印刷依頼 昭和57年3月16日>

1. 印刷部数：500部

2. 納 期：昭和57年6月末

<昭和57年第1回幹事会>

日時：昭和57年5月7日

場所：愛知淑徳短期大学

出席：5校

(1) 昭和56年度事業報告及び決算報告

(2) 会則第5条1項2号の申し合せ事項取扱いについて

- (3) 役員改選について(昭和57、58年度)
 (4) 昭和57年度事業計画及び予算案について
 (5) J L A 図書館大会短大大会運営への協力について
 (6) その他

以上、(1)~(4)の報告及び提案については原案どおり承認された。(5)については大会運営委員との連絡不十分により再調整。総会が8月に予定されているので会則第9条に基づき総会にかわって正式決定。

<北陸地区の動き>

東海・北陸地区図書館協議会の下部組織として、北陸地区協議会の発足が金沢女子短大(北陸地区幹事校)を中心として行われようとしている。

○「東海・北陸地区私立短期大学雑誌目録」の編集を終えて、

東海・北陸地区図書館協議会では、55年9月、雑誌目録刊行についての審議を行い、関東・甲信越地区、近畿地区に続いて、57年6月に刊行する運びとなった。

56年1月に東海・北陸地区の私立短期大学42校(うち併設校11)に雑誌目録刊行のための、雑誌一覧作成の依頼をした。そのうち29館の協力を得て、和文誌1566タイトル、欧文誌574タイトルを回収した。

収録誌の範囲として、学術雑誌、一般雑誌、PR誌等全雑誌を対象とし、大学・短大・高専等の紀要類は含めず、逐次刊行物のうち、新聞、年鑑、白書、概要、統計・報告書の類は除いた。

編集は役員校が編集委員となり、1校につき、100タイトルから200タイトルの浄書を行った。

欧文誌はタイトル数が少ないので、会長校で浄書を行ったが、書誌的事項の不明のものがかなりあった。

誌名、巻号表示、編者、発行所の変遷などで、刊行の形態が変わったもの、途中からとか、部分的に所蔵しているもの等、書誌的事項の変遷の追跡調査は、主として、Ulrich's International periodicals directory と、Magazine's for Librarys (Bill Katz & Berry J. Richard) で調査したり、所蔵館へ問い合わせたりして、確認するまでかなりの時間を費した。

校正も三度、修正作業を行ったが、編集に当たった者の未熟さのため、不備な点があるかと思う。お気付きの点は、きたんなく指摘していただき、今後役に立たせたいと思う。

関東・甲信越地区・近畿地区・東海・北陸地区と併せて利用していただき、地区相互利用活動の一助として、少しでもみなさんのお役に立てばと思っている。

(愛知淑徳短期大学 夏目)

<近畿地区>

<「近畿地区私立短期大学雑誌目録 補遺版」発行>

今回の補遺版には新たに3館が参加した。昭和55年9月に発行した本版と合せると、参加館は計60館となる。価格は送料込で¥500.- お申し込みは平安女学院短大図書館まで。

<総会及び第12回研修懇談会>

日時：昭和57年4月2日

会場：平安女学院短期大学

参加館：29(46名)

(総会)

- 1) 昭和56年度会勢、活動報告
- 2) 昭和56年度会計報告
- 3) 昭和57年度事業計画
- 4) 昭和57年度予算

(研修会)

テーマ：中小図書館と整理委託

講師：藤井千年氏(尼崎市立北図書館長)

<昭和57年度第1回幹事会>

会場：平安女学院短期大学

参加者：前川(大谷女子短大)、松浦(光華女子短大)、瀬古(帝塚山学院短大)、井上(平安女学院短大)

主に昭和57年度の研修会の日程を協議した。

<中国・四国地区>

中国・四国地区協議会は、結成されて未だ日が浅く、組織固めが第一と考え、名簿の作成を行った。館長以下関係全職員を含んだものを、全ての加盟館について掲げた。

今後の活動を進めるため、各県での私立短期大学図書館の協議会についてアンケートを取ったところ、岡山県以外は県独自の組織を持っている所は無く、中四国地区での研修会等の開催の必要性を痛感している。岡山県では20数年前から公私立短大合同の会を造り研修を重ねて来て居り、今後当地区の会合を計画するに当たっては、年によりその会との共催も一考すべきであろう。いずれにしても、有意義な会を開くことは、加盟館の増加にも繋がりが、お互いに裨益するところが大なるであろう。

役員改選の年にあたり、改選方法は今後の検討課題として残しながら、とりあえず推薦で次のように決定。

理事館=美作女子大学短期大学部

幹事館=比治山女子短期大学

監事館=宇部短期大学

＜九州地区＞

昭和56年度総会および研修懇談会

日時：昭和57年3月19日(金) 11:00～16:00

会場：西南女学院短期大学

参加者：11館18名

1. 会勢報告
2. 会計報告
3. 昭和57年度について
 - (1) 役員改選の件
九州地区を5地区に区分し輪番制とする、57年度から福岡地区より選出する。
 - (2) 総会開催地について
九州地区大学図書館協議会総会の開催地で、その前日に行う。
4. 講演「図書館界の動向」
講師：安部三巳氏(別府大学図書館副館長)
5. 研修・懇談
承合事項として13校より回答が届き、それをもとに話し合われた。又、安部全国理事に対し九州地区から要望および質問がなされた。
 - (イ) 雑誌総合目録を国規模で作るなら本部でフォーマットを作成してほしい。
 - (ロ) 他地区の役員組織の様子を知らせてほしい。

(イ) 次年度の全国研修会の開催地と内容を知らせてほしい。

昭和57年度総会・見学研修会

日時：昭和57年4月26日(月) 11:00～17:00

会場：城山共済会館(鹿児島)

参加者：15館25名

1. 役員改選
会長校：福岡女学院短大(福岡県)2年間
2. 会勢報告
3. 会計報告
4. 昭和57年度事業計画審議
 - (1) 総覧をもっとほりさげた総合目録を作成する。
これには相互利用に役立つ会員名簿も含む。
 - (2) 雑誌目録を作成する。(全国的に統一したもの)
5. 昭和57年度予算審議
6. 図書館見学、鹿児島女子短期大学図書館、鹿児島短期大学図書館
7. その他、安部全国理事より前回の九州地区からの要望および質問の回答。
会の終了後、公立大学、短期大学、私立大学、短期大学共催の懇親会を持った。

昭和56年度私立短期大学図書館関係の動き

1. 私立短期大学図書館協議会
(省略)
2. 日本私立短期大学協会主催昭和56年度「私立短大図書館担当者研修会」
期間：7月20～23日
会場：秋田市 秋田短期大学
テーマ：図書館運営と規程の役割り
第1日
 - ①基調講演「短大図書館の機能と活動」前園主計(青山学院女子短期大学)
 - ②全体会(I)「私立短大図書館関係諸規程集の作成について」(各委員からの報告と座談会)
 - ③全体会(II)「図書館運営と規程の役割り」(金沢女子・共立女子・杉野女子大学の三短期大学からの発表)
 第2日
 - ①文化講演「物語素と秋田」井上隆明(秋田経済大学)
 - ②分科会 管理運営・利用・収集整理の三分科会
 第3日
 - ①分科会(継続)
 - ②パネルディスカッション「スタッフマニュアルの実際」(北星学園女子・就実・神戸常盤の各短期大学からのパネラー)
 第4日
秋田大学図書館、県立図書館、県立美術館の見学
3. 東京都私立短期大学協会主催「図書館研究協議会」
期間：7月24～25日
会場：私学会館
第1日
 - ①講演「大学図書館における学術雑誌の取り扱い」布川角左衛門(筑摩書房)
 - ②パネルディスカッション「収書に関する諸問題」
 - ③実情交換「図書館業務に関する諸問題」
 第2日
淑徳短期大学図書館、大東文化大学図書館(東京キャンパス)の見学
4. 文部省主催大学図書館職員の講習会
東京会場で私立7・公立2名、京都会場で私立5・公立3名が受講。(網本)

＜ 事 務 局 報 告 ＞

1. 全国理事会

日時：昭和57年5月18日(火) 午後5時半～

会場：私学会館

出席：会長・監査・地区理事・理事・幹事 19名

議題：もり会長のあいさつのもと、昭和57年度総会にかける議題について審議した。審議内容は、会勢・事業報告、地区活動報告、決算および会計監査報告、昭和57年度事業計画および予算案など。慎重な審議の後、いずれも承認。

2. 本部役員会

○昭和56年度第7回役員会

昭和56年12月22日(火) 於：日本図書館協会

報告事項

- 1) 会勢
- 2) 地区協議会の活動

協議事項

- 1) 『短大図書館研究第3号』の件(継続)
- 2) 昭和57年度短大図書館全国研修会の件(継続)
- 3) 図書館事業振興法の件(特に短大図書館の基準について)
- 4) その他

○昭和56年度第8回役員会(臨時)

昭和57年1月11日(月) 於：共立女子短期大学

協議事項

- 1) 図書館事業振興法に関する件(特に短大図書館の基準について：継続)
- 2) その他

○昭和56年度第9回役員会

昭和57年1月28日(木) 於：日本経済短期大学

報告事項

- 1) 地区協議会の活動
- 2) その他

協議事項

- 1) 『短大図書館研究第3号』の件(継続)
- 2) 昭和57年度短大図書館全国研修会の件(継続)
- 3) 昭和56年度関東甲信越地区協議会の件
- 4) その他

○昭和56年度第10回役員会

昭和57年2月27日(土) 於：共立女子短期大学

報告事項

- 1) 地区協議会の活動
- 2) その他

協議事項

1) 『短大図書館研究第3号』の件(継続)

2) 昭和57年度短大図書館全国研修会の件

3) 昭和56年度関東甲信越地区協議会総会の件(継続)

4) その他

○昭和56年度第11回役員会

昭和57年3月11日(木) 於：東洋英和女学院短大

報告事項

- 1) 会勢
- 2) その他

協議事項

- 1) 昭和56年度関東甲信越地区協議会総会の件(継続)
- 2) 昭和57年度短大図書館全国研修会の件(継続)
- 3) 昭和56年度事業報告および決算の件
- 4) 昭和57年度事業計画および予算の件
- 5) その他

○昭和57年度第1回役員会

昭和57年4月2日(金) 於：日本図書館協会

報告事項

- 1) 会勢
- 2) 『短大図書館研究第3号』について
- 3) その他

協議事項

- 1) 昭和57年度総会および全国理事会開催の件
- 2) 昭和57年度事業計画および予算の件(継続)
- 3) 昭和56年度事業報告および決算の件(継続)
- 4) 昭和57年度短大図書館全国研修会の件(継続)
- 5) その他

○昭和57年度第2回役員会

昭和57年5月11日(火) 於：日本図書館協会

報告事項

- 1) 地区協議会の活動
- 2) 『短期大学図書館研究第3号』の件
- 3) 『図書館員になるには』刊行の件

協議事項

- 1) 昭和57年度短大図書館全国研修会の運営の件(継続) 5
- 2) 昭和57年度総会の運営の件
- 3) 昭和57年度総会提出議案の件
- 4) その他

◇中四国地区および九州地区で新地区理事を選出

この度、中・四国地区協議会および九州地区協議会において、新たに下記の方が地区協議会長に選出され

ました。多大の貢献を賜った前地区理事および前地区理事館に対して、加盟館を代表して心から感謝申し上げます。なお新地区理事および新地区理事館につきましては、ご指導とご助力を賜りますようお願い申し上げます。

前地区理事	新地区理事
中四国地区：坂東文雄（四国女子大学短大部）	吉岡寅之助（美作女子大学短大部）
九州地区：村上博子（西南女子学院短大）	波多野栄子（福岡女子学院短大）

私立短期大学図書館協議会新加盟館紹介（会報9号以下追加）

昭和57年6月19日現在

短期大学図書館名	〒	住 所	連絡責任職	氏 名
＜関東・甲信越＞				
茨城女子短大	311-01	茨城県那珂郡那珂町東木倉 960-2	係 長 館長補佐	片岡 百合子
聖徳学園短大	271	千葉県松戸市岩瀬字向上 550		大橋 暁
昭和女子大短大部	154	東京都世田谷区太子堂 1-7-57		加藤 幸 子
杉野女子大学短大部	141	東京都品川区上大崎 4-6-19		松井 将 子
＜九州＞				
純心女子短大	852	長崎市三ツ山町 235		

△会 勢

57. 6. 19 現在

北海道 地区	15	近畿地区	49
東 北 "	11	中・四国	22
関東甲信越	68	九 州	26
東海・北陸	26	合 計	223

△〔紀要第4号原稿募集〕

今年度も紀要を刊行します。つきましては加盟館員の積極的投稿をお願いします。

応募要項は毎号巻末に記載されております。

○原稿締切 11月末日

○投稿先

〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1
東京女子大学短期大学部図書館内
私立短期大学図書館協議会事務局

△会費納入方お願い

今年度会費¥8,000円各地区理事校へ納入よろしくお願いたします。

〔原稿募集〕ご投稿お待ちしております。

今年度より会報年3回発行することになりました。

次回11号は10月頃発行の予定です。今年当協議会が発足して満5周年になります。これを記念して特集を企画します。つきましては、創立当時の思い出、5年たったいま、入会してよかった、など当時の発起人の方々、また新しく加盟された館、館員の方々の積極的な投稿お待ちしております。

〆切：9月20日 会報編集係まで

編集後記：会報第10号をお届けいたします。当協議会が発足して今年で満5周年になります。途中挫折することなく今日まできたのも、会員校のご協力、ご支援によるものと存じます。短大図書館界も、会長が述べられているように、格段の進展が見られます。図書館活動も今や、館界から注目されるようになりました。

マイコンの講習は館界唯一の、そしてはじめてのもので大変好評を得ております。今後このような研修会あるいは、活動を積極的に実施し、短大図書館の一層の充実と発展を図ってゆきたいと思っております。

今回より会報編集に網本理事が加わり、充実した紙面が期待されます。ご期待ください。（網本・菅原）

発行所 私立短期大学図書館協議会 〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1
東京女子大学短期大学部図書館内 Tel: 0422-45-4145

出版物案内

私立短期大学図書館協議会

○会報 年3回 現在10号

○マイクロコンピューター・プログラム
 (NEC、PC 8001用)
 (図書館の貸出管理・予算管理・雑誌管理)
 頒布価格 30,000円

問合せ:

〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1
 東京女子大学短期大学部図書館内
 私立短期大学図書館協議会事務局
 電話 (0422-45-4145)

○私立短期大学図書館総覧 1979.3.31
 B5版 700頁 頒布価格3,500円

○私立短期大学図書館総覧—集計・分析—
 1の80.10.31
 B5判 66頁 頒布価格2,500円

○短期大学図書館研究 年1回
 1号 80.3.31 1,700円
 2号 80.3.31 頒布価格 2,300円
 3号 80.3.31 2,800円

○図書館員になるには<資格と就職のガイド>
 菅原春雄編著 A5判 176頁
 頒布価格1,500円

販売取扱 株式会社 新日本印刷
 〒105 東京都港区虎ノ門1-25-12
 電話 (03-503-0428)

○関東・甲信越地区私立短期大学図書館雑誌紀要
 総目録 1980 兼目 恵子編

55.7.31 発行
 B5判 253頁 頒布価格 3,300円

発売 〒328 栃木市錦町5-26
 ふろんていあ 電話 0282-24-6081

○近畿地区短期大学雑誌目録 1980.3月末現在
 55.9.1発行

B5判 194頁 頒布価格 3,000円
 発売 丸善大阪支店またはお近くの丸善へ

○同 補遺版 56.7.5現在
 B5判 52頁 頒布価格送料共500円
 発売・申込 〒602

京都市上京区下立売通烏丸西入ル
 平安女学院短期大学図書館
 電話 (075-431-1181)

○東海・北陸地区私立短期大学図書館雑誌目録
 1982

B5判 頒布価格送料共 3,000円
 申込 〒464 名古屋市千種区桜が丘23

愛知淑徳短期大学附属図書館内
 私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会
 電話 (052-781-1151)

□故間宮不二雄先生13回忌追悼出版

DEWEY十進分類法導言 間宮不二雄訳
 —昭和5年版の復刻—

発行:不二会(代表もり・きよし)

菊判 116頁 頒布価格 1,600円

<希望の方は下記へ申込んでください>

株式会社 新日本印刷

〒105 東京都港区虎ノ門1-25-12

電話 (03-503-0428)